合格体験記（AO方式入学者選抜）

第Ⅱ項　現代社会 学部 社会システム 学科　　専攻

出身高校名 松江市立女子高校

（1）同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、将来観光に携わる仕事をしたいと思い、同志社女子大学を志望しました。観光だけでなく、国際理解・ビジネスなど幅広い分野での学びがある社会システム学科はとても魅力的だと感じました。また、同志社女子大学がある京都は、国際文化観光都市に指定されており、世界有数の観光都市です。そんな京都で観光について学べることは、私にとってとても理想的だと思いました。

（2）AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は、高校で普通科ではない学科に所属していたので、普通科ではできない体験をたくさんしてきました。その経験は、ペーパーテストではアピールできないと思いましたし、自分の力を最大限に発揮できる受験方法はAO入試だと思いました。また、同志社女子大学に入学し、もっと自分を成長させたいという気持ちを直接伝えたいと思い、AO入試を選びました。

（3）AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

高校では、国際文化観光科の観光コースを専攻にしていたので、そこでの活動を主にアピールしました。活動の中でも、外国人の方々を観光案内した経験、観光案内所や地元旅館でのインターンシップなどを出願書類に書きました。それらの活動を通じて得た力や学んだこと、これから何をしたいのかなども書きました。添付資料では、それらの活動を取りあげていただいた新聞記事などをつけました。

（4）出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

志望理由書・自己アピール文では、今まで経験してきたことやそれによって得た力・これからへの意欲などがはっきりと伝わる文章になっているかを意識しました。

課題レポートは、テーマについてよく考え、まとめて何回も書き直しました。また、出願書類を作成するにあたり、アドミッションポリシーをよく参照し、伝えたいことが明確に伝わるよう心がけました。

〔面接〕

自信や熱意は伝わると思い、『自分に自信をもつ』を1番意識しました。出願書類では書ききれなかったことや、添付資料についてしっかりと話せるよう準備しました。また、"明るく笑顔でハキハキと"を心がけました。さらに質問に対する返答が暗記しているようにならぬよう、大切なポイントをおさえて箇条書きにしたり、返答の1つひとつにアピールが入るようにしました。

（5）選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試は「どうしてもこの大学で学びたい」という気持ちが大切だと私は思っています。また、AO入試は自分自身をよく見つめ、理解する良い機会だと思います。私はこの入試を受けたことで以前よりも自分に自信がもてるようになりました。受験生のみなさん、大学入試はどんな入試方法でも大変ですし、やめてしまいたいと思うときもあるかもしれません。しかし、"なりたい自分"をしっかりともって最後まで挑み続けてください。その努力はきっと無駄にはなりません。頑張ってください。応援しています！